

# 北海道置戸高等学校 PTA だより

第130号  
令和6年3月1日  
発行 置戸高校PTA

## 卒業を祝して

PTA 会長 K. N

置戸高等学校3学年の皆さん卒業おめでとうございます。また保護者の皆様、お子様が立派に成長され、卒業という今日の日を迎えられたこと、ほんとうに心よりお祝い申し上げます。

校長先生をはじめ、先生方におかれましては、「自ら考え、自ら律し、自らを創る」を目指した心温まる指導を行っていただき、深く感謝申し上げます。また日頃より置戸町の皆様におかれましては、置戸高校の生徒を温かく見守っていただき、厚く御礼申し上げます。

さて、卒業される皆さんにとって、この3年間の置戸高等学校での生活はどうでしたか。皆さんは入学当初から「介護と福祉」の道へと進むことを決意して入学されたと思います。今の自分と比較してどうでしょうか。コロナによる制限に戸惑いつつも、多くのことを学習し、時に悩み考え、同級生と協力し、夢に向かって頑張ってきたことでしょうか。今では立派に成長した置戸高校の卒業生です。これから先、皆さんの歩む道はそれぞれ異なりますが、置戸高校で学んだことをそれぞれ遺憾なく発揮してください。社会に通用する能力は皆さん持ち合わせているはずで、努力は必ず報われると私は確信しています。自信を持ってこれから歩む道へと躍進してほしいと思います。

最後に卒業生の皆さん、これからは大人として責任と自覚を持ち、さらなる成長と輝かしい未来になることを切に願っています。そして、今後の活躍を期待しています。卒業おめでとう！！

## 卒業に寄せて

校長 N. K

本校の高等学校の課程と介護福祉士の養成課程を修了した生徒並びに保護者の皆様、おめでとうございます。10名の卒業生は感染症などの渦中でも本校の教育目標を体現してくれた学年でした。さらに共に学ぶ仲間を励まし、困難なことにもしっかりと向き合い努力する姿は、私たち教職員だけではなく周囲の大人に元気と感動を与えてくれました。

さて、生徒の皆さんは本日より次なるステージに進むこととなります。これからは大人としての責任が求められます。そこで先日聴いた講演で、“Don't believe anybody! (自分の目で確認せよ!)”というリスクマネジメントの言葉を贈りたいと思います。この言葉は、大人としての責任に正面から向き合うためにとっても大切な一言だと思います。

時代は急激に変化していますが人間ならではの感情に深く関わるコミュニケーションスキルは、AIにはまねのできない能力です。ぜひとも本校で培ったコミュニケーションスキルを今後も磨き続け次のステージへの飛躍につなげていくことを期待しております。

これからも不確実性の時代は続いていくでしょう。それゆえに、いかなる時にもベストを尽くすことが要求されるだけではなく真価が絶えず問われ続けられるものと思います。

このような現代社会を生き抜く力を卒業生や在校生につけさせるために、私たち PTA は今後も応援し続けることが強く求められます。このような思いから地域社会の皆様には、これからも引き続き、本校教育活動へのご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 2年生での学びと来年の決意 2年 T. F

私が2年生で学んだことは、利用者様とのコミュニケーションの図り方や介助の方法についてです。授業で行っていた関わり方や介助方法は、現場に出ると一人ひとりの利用者様に合う方と合わない方がいらっしました。私が習得してきた技術は、更に細かく注意しなければならない点やどのように行うと利用者様が楽に過ごすことができるかを考えることが課題となりました。実際に介助をしてみると、人の大きさや体重が想像とは違い、効率良く介助を行うまでに時間がかかりました。介助の手順だけではなく、なぜそれを行う必要があるのかを理解し、実践することが介助をしていく上で大切であると感じました。

来年は、国家試験に向けて自分の苦手分野を理解し、苦手分野を得意分野に変えるために、熱心に勉強に取り組んでいきたいと思えます。3年生では模試を解く回数が多くなるため、自分の勉強に効果の出る取り組み方を身に付けていきたいです。また、これから自分の進路への大事な時期となるため、体調管理に気を付けて計画を立てて行動する年にしたいと考えています。

## 介護実習で学んだこと 1年 F. S

私が5日間の実習で学んだことは、人を頼ることはしても、人任せにはなってはいけないということです。

私たち1年生は、他人に頼りすぎてしまうことが多々ありました。実習でも、初めて訪れた施設ということもあり、自ら考えずに職員の方に何を行えば良いのか聞いてしまうことや、指示待ちになってしまうことが多くありました。今回は実習生という立場で、職員の方々は優しく丁寧に支えてくださいました。とても感謝しています。しかし、介護現場で就職することを考えるとこのままの姿勢ではいけないと思えます。何をすればよいかわからなくて聞くにしても、聞く前に周りの状況を見て何をすればよいかを自分で考えた上で確認することはできたと思えます。人を頼ることと人任せになることの違いを学ぶことができました。

2年生の介護実習では、コミュニケーションだけでなく、身体介助も行います。1年生の実習で学んだ人任せにならないということを意識しながら、辛いときにはみんなて頼り合い支え合い、乗り越えていきたいです。

## PTA事務局より



PTA 研修会



北見支部研修会



高校生と語るつどい

## 令和5年度 会務(活動)報告・予定

年月日	記	事
R5. 4月10日	令和5年度 入学式(井岡会長祝辞)	(本校体育館)
R5. 4月29日	授業参観、PTA総会、PTA役員顔合わせ、保護者懇談会	(置戸高校)
R5. 5月20日	北海道高等学校PTA連合会北見支部総会 (出席者:後藤教頭、三好教諭)	(北見市)
R5. 6月9~10日	北海道高等学校PTA連合会(令和5年度第72回保護大会) (出席者:曲谷副会長、後藤教頭、野村教諭)	(小樽市)
R5. 8月24~25日	全国高等学校PTA連合会大会(令和5年度第72回富城大会) (出席者:なし)	(宮城県)
R5. 8月29日	令和5年度 第1回PTA役員会	(置戸高校)
R5. 9月27日	PTA研修会	(置戸高校)
R5. 9月27日	PTAだより 第129号発行	(町全戸回覧)
R5. 10月21日	令和5年度北海道高等学校PTA連合会北見支部研修会 (出席者:後藤教頭、小形監事)	(遠藤町)
R5. 12月3日	令和5年度「高校生と語るつどい」事業 (出席者:後藤教頭、川村会長、1年 川村侑衣花)	(遠藤高校)
R6. 2月15日	令和5年度 第2回PTA役員会	(置戸高校)
R6. 3月1日	第58回卒業証書授与式	(本校体育館)
R6. 3月1日	PTAだより 第130号発行	(町全戸回覧)
R6. 3月	令和5年度 第3回PTA役員会	(置戸高校)

## 介護福祉士国家試験の受験を終えて 3年 S.S

先日、第36回介護福祉士国家試験が終わりました。今は試験を終えた達成感や合否が怖い気持ちなどありますが、入学時からずっと一緒に頑張ってきた10人で受験することができてとても嬉しいという気持ちがなによりも大きいです。

私たちは介護福祉士の国家資格取得を目指して道内各地から集まりました。入学してからは、勉強量の多さや演習、実習などの厳しさに愕然としました。想像の何倍も忙しそうで自分たちがついていけるのか不安が募りました。その不安や焦りなどからクラスメイトとぶつかったことも何度もあります。その度にクラス全員で話し合っ自分たちが大事にしていることを再確認して、なんとか必死になって食らいついてきました。これまで本当に色々なことがあったけれど、クラス一丸となって頑張ってきたことが国家試験の結果に繋がることを信じています。

先生方、保護者のみなさん、今まで沢山の応援ありがとうございました。置戸高校で充実しすぎている3年間を過ごすことが出来て本当に良かったです。



スーツ着こなし講座



高齢者大学との交流



小学校出前授業

探究チャレンジ・オホーツク



生徒会認証式

## 卒業にあたって 3年 O.A

今までの学校生活を振り返ると、とても濃く充実した3年間だったと思います。

私は入学する前は置戸高校で友達とうまくかかわることが出来るのかと思い、人と関わることに不安を感じていました。しかし、クラスみんながとても温かく、そして優しくしてくれたことで徐々に打ち解けることが出来ました。また、介護福祉士になるという夢を実現するために1年生の頃から苦手なことがあっても必死に努力を重ね、取り組んでいきました。その中でも、クラスみんなの支えがあったからこそ多くの壁を乗り越えることが出来ました。それは1人ではなく、「10人で」困難を乗り越えることが達成感にも繋がり、団結力がさらに深まっていきました。その中で「何事も協力し努力すること」の大切さを学ぶことができたのはクラスメイトの9人がいたからです。みんながいたから、どんなことも力を合わせて取り組むことが出来ました。

また、部活動でもボランティア部部長として多くの部員をまとめ、部員の士気を高めることができたことも高校生活では大きな経験の一つとなりました。

私は、置戸高校の3年間で大きく成長することが出来ました。これは先生方の指導、サポートのおかげです。そして、充実した高校生活を送ることが出来たのは10人で多くの思い出を共有したからです。本当にありがとうございました。これから、私たちはそれぞれの道に進みます。卒業後は今までの経験を活かし、さらに成長していきます。

## 卒業生の皆さんへ

3年保護者代表 C.Y

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、本日まで支えてこられた保護者の皆様にも心よりお祝い申し上げます。

3年前、15歳という若さで福祉の道を志し置戸高校に入学した10名の仲間が、3年間共に支え合い過ごした日々は楽しい事ばかりではなかったでしょう。時にぶつかり、涙し、苦しくて逃げ出したくなった事もあったかもしれません。コロナ禍という誰もが初めての状況に制限も多く自由に物事を進めることも困難な中、少しでも楽しい事をさせてあげたいと高橋先生はじめ、たくさんの先生方が力を尽くしてくださったこと、皆さんも感じていたと思います。先生方、本当にありがとうございました。そして、卒業生の皆さん3年間本当によく頑張りましたね。

皆さんが10名そろって卒業式を迎えられたこと本当にたくさんの方が喜んでくださっています。これからは、それぞれ新しい場所での生活が始まります。学びや出会い、つまずく事もあるかもしれません。しかし、皆さんは1人ではありません。共に乗り越えた仲間、先輩後輩、先生方、家族がいます。置戸高校の卒業生であるという自信と誇りを胸に旅立ってください。いつまでも応援しています。

皆さんのこれからの、素敵な出会いと笑顔であふれますように。またご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

## これからの道で

3年担任 T.D

卒業生の皆さん、そして保護者の皆様方、ご卒業おめでとうございます。沢山の皆さんの支えによって今日この日を迎えることができ、大変嬉しく思っております。

保護者の皆様には3年間、あらゆる場面で本校の教育活動に対してご理解とご協力をいただき、お子様の成長を一番にサポートしていただきました。最後まで温かく見守っていただきましたこと心より感謝申し上げます。

振り返るとコロナ禍という時代の転換期を乗り越えようと置戸高校生としての新しい試み、挑戦をする生活をより多く経験し、いつも前向きに一生懸命に取り組み、最善を尽くそうと駆け抜けた10人でした。

卒業生の皆さんは楽しい時を共に過ごしながらも国家試験合格という目標に向かって、時には辛く、くじけそうになることが多々あったと思います。それでもいつも10人で、そして1人ひとりの優しさと助け合おうとする心があってたくさんの壁を乗り越えてきました。その姿はいつも輝いていて3年間で介護専門職を志す者として、人として大きく逞しく成長してくれました。

社会に出てからも変わらず努力や成長し続けることを忘れず、輝き続けてください。そして置戸高校で培った力を卒業後も十分発揮し、それぞれの場で活躍することを願っています。

最後になりますが、置戸町をはじめとする関係各機関の皆様からは多大なるご支援、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。



国家試験激励会



いざ国家試験へ!

